

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。
最終面に掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板

敬称略

私は今年の秋田市立大正寺
中学校卒業生です。母校がな
くなりさみしいですが、三年
間の思い出は私の人生の宝
物！(那須祐美子 15歳・雄和)
親子三代にわたり学んだ大
正寺中学校が廃校となるのは
とてもさみしいです。でも、
孫の先生が「卒業してもみん
なが母校として帰ってくるこ
ろは、ここ大正寺中学校な
んだよ」と言ってくれて、ど
こかほっとする思いでした
(那須節子 67歳・雄和)
地域ぐるみで子どもたちを
育ててもらっている大正寺か
ら中学校がなくなるのはさみ
しいですが、我が子らには雄
和中で、一回り大きく成長す
ることを期待しています。記
念に残る特集、うれしかった
です(佐々木禎子 44歳・雄和)
「木の花草の花たより」。
月一回の楽しみが増えまし
た。花の由来、見どころをし
っかり覚えて「通」になろう
(加藤サヨ子 59歳・八橋)
私の生まれは河辺町。今度
秋田市になり何となくうれし
くて、これまで以上に広報が
待ち遠しくなりました。とて
も身近に感じます。河辺・雄
和周辺のニユースなど、めず
らしいことがないかなあと楽
しみ。そういえば、雄和と河
辺の境界線あたりで、毎年今
ごろ「バツキヤ」を取りに行
ってましたが、今年は雪がま
だ多くてだめかと思っていま
す(余津ティ 71歳・泉)
猫のひたいほどの庭に山の
ように積もっていた雪がここ
数日ですっかりとけてなくな
り、わずかに残っているだけ
になりました。数か月ぶりの
庭の土と花の茎を見ている
と、土から見慣れない緑のと
んがりが出てきました。秋の終
ます。よく考えると、秋の終
わりに植えたチューリップた
ち！ 冬の間の数か月ですつ
かり忘れていました。めざま
し時計もないのに、春とな
ぜわかったのか不思議で、た
だ自然のサイクルに感動。
「よく出てきたね」と声をか
け、春を実感した一日でした
(長谷川郁美 24歳・桜台)

地域の話 おしえて!!

地下歩道「仁井田ふきっこロード」完成 安全な通学路は私たちの宝物です！

3月28日、仁井田小学校近くに
完成した地下歩道「仁井田ふきっこ
ロード」の開通式が行われました。
「ふきっこロード」という名前は、
仁井田小の子どもたちが、地域特
産の秋田路にちなんで付けたもの。
また、全長約62mの地下歩道壁面
には、地域の歴史や文化を読んだ
「仁井田郷土かるた」が埋め込まれ、
ちょっと足を止めて見たくなる素
敵な地下歩道になりました。
開通式で、仁井田小5年(現6年)

の橋本優里さんは、「1年生のときは、
国道を通るのが怖かった。地下道が
できると聞いてから早く通りたいと
ワクワクしていました。地下道を私
たちの宝物として大切に利用してい
きたいです」と感謝のあいさつ。
子どもたちの安全な通学路の確
保という地域の長年の願いがかな
った「ふきっこロード」。今後は、
仁井田小の児童らが、ボランティ
アで清掃を行い、きれいに利用し
ていくそうです。



仁井田郷土かるた
「にわか雨さつと
挿しかけ秋田路」



きれいな地下歩道って気持ちいいね！



おしゃべりかわらばん



市役所で行われた黄色い帽子贈呈式に参加した戸井田基くん(岩見三内小1年)

ピカピカの黄色い帽子だよ

新1年生のお友だちと一緒に黄色い帽子をもらったよ。警察のお姉さんが「道路に出るときは1回止まって、右、左を確認」って言った。ぼくもちゃんと守ります。小学校に行ったら、なわとびをがんばりたいな。

アメフトの迫力を間近で!

創部3年目、現在の部員は学生と社会人合わせて約40人。今年のモットーは“勝ちにこだわる”。5月1日、新屋運動広場で岩手大学と試合をします。ぜひ応援に来て、迫力あるプレーを間近で見てください!



県内唯一のアメフトクラブチーム「秋田ラムズ」の主将・庄子充さん

井戸端通信が楽しみ

「声の広報」を聞き続けて30年になります。特に井戸端市民通信で市民の声を聞くのが楽しみ。広報を朗読するボランティア「花時計」のみなさんにはいつも感謝しています。月2回の広報、これからも楽しみに待っています。



視覚障害者向け「声の広報あきた」利用者の熊谷幸二郎さん(八橋)

活躍の場は世界! がんばれ海外協力隊員

4月から2年間、ボランティアとして海外に派遣される青年海外協力隊員に、秋田市から2人が選ばれました。

電力の安定供給を支援

モンゴルの火力発電所で業務管理の指導をします。電力関係の仕事で得てきた知識や経験を提供して、架け橋になればと思います。



モンゴルの派遣された山崎孚(まこと)さん(64歳)



ホンジュラスに派遣された鎌田真紀さん(28歳)

一緒に問題解決を

ホンジュラスで手工芸品の企画・制作を行います。現地の人々の活動に参加させてもらう気持ちで、一緒に問題を考えたいと思います。



市自主防災総練習 資機材交付会場

(財)自治総合センターから、飯島サンパーク町内会自主防災隊に30万円(宝くじの収益)の助成がありました。消火器、救急医療セット、発電機、救助工具などが配備され、地域の防災能力向上に役立っています。

二歳の娘といつものように、はっ水加工のブーツをはいて出かけたなら、いつの間にか街中の雪がとけてスツキリしていました。明日からはスニーカーで、さっそうとお出かけします!(鷲谷典子 33歳・南通)

秋田に来て早三年。一児の母となり、公民館などの乳児教室に参加し、楽しく過ごしています。あつたかくなつたら、上手に歩いたり、走ったりできるようになった息子を連れて、秋田のいろいろなところに行きたいなあ(加藤紘子 26歳・土崎)

四月、娘が小学校に入学しました。黄色い帽子をかぶり、真新しいかばんを持ったぴかぴかの姿を見ていると、私まで新鮮な気持ちにさせられます。広報課五年生の私は、新鮮な気持ちでだんだん少なくなってきました。娘から分けてもらった新鮮な気持ちで感じたことは「初心忘るべからず」。広報の仕事も新鮮な気持ちが大切です。初心に返って、取材先で感じた新鮮な発見や感動を、映像で分かりやすくお伝えしたいと思います。

広報テレビ番組は、四月から放送回数減少しましたが、制作本数は週三本と変わりません。新たな気持ちで制作する広報テレビ番組にご期待ください!(渡邊)

係からひとこと

広報クイズ



秋田ラムズ

3月16日号の当選者

前回のクイズの答えは、問1が「市民交流」サロン、問2が「大正寺中学校」でした。

全問正解173通(応募総数183通)の中から、板垣百合子さん(川元)、小林咲実さん(飯島)、佐川信子さん(八橋)、佐々木清さん(榎山)、佐々木禎子さん(雄和)、佐藤忠さん(仁井田)、菅原信子さん(茨島)、鈴木真知子さん(河辺)、藤田久男さん(外旭川)、本間登美子さん(飯島)の10人のかたに図書カードをお送りします。

4月の広報クイズは最終面です。よろしく!!

広報クイズの当選者は、毎回、市政記者室の記者のかたに厳正に抽選してもらっています(広報課)